



発行 社団法人 日本建築士事務所協会連合会

■第51回 通常総会(平成21年度予算総会)概要

1. 日 時 平成21年3月30日(月)

午後3時35分から午後4時25分まで

2. 会 場 八重洲富士屋ホテル 2階「桜の間」

東京都中央区八重洲2-9-1

3. 総会の構成者数及び出席者数

総会構成者数 正会員代表者 46人

出席者数 正会員代表者 46人

(うち、表決委任状提出3名)

○表決委任を受けた者の氏名

北海道会 庄司 雅美 埼玉会 松下 充孝

大阪会 高橋 祥治

4. 出席者の氏名

(1) 役 員

会 長 三栖 邦博

副 会 長 山本 茂男 山崎 善利

本澤 宗夫 鈴木 誠一

外木場久雄 八島 英孝

専務理事 高津 充良

常務理事 北野 芳男

常任理事 木村 旭 野呂 敏秋

原田 照行 髭右近外嘉

山田 美光

理 事 浅野 善治 上野 浩也

上原 伸一 大野 和男

河野 久 須賀川 勝

野呂 幸一 水谷 達郎

村山 高文 山中 保教

横須賀満夫

監 事 大内 達史 岡田 利一

速水 可次

(2) 正会員・指定代表者の氏名(表決委任された者を含む)

北海道 庄司 雅美 滋 賀 藤村 亮一

青 森 野呂 敏秋 京 都 上野 浩也

岩 手 高橋 敏 大 阪 高橋 祥治

宮 城 栗原 憲昭 兵 庫 外木場久雄

秋 田 鈴木 誠一 奈 良 泉谷 良宏

山 形 伊藤 剛 和歌山 岩橋 重文

福 島 田畑 光三 鳥 取 足立 収平

茨 城 横須賀満夫 島 根 矢野 敏明

栃 木 本澤 宗夫 岡 山 木村 旭

群 馬 山田 美光 広 島 直井 稔征

埼 玉 松下 充孝 山 口 香月 直樹

千 葉 内田 久雄 徳 島 速水 可次

東 京 三栖 邦博 香 川 富岡 学

神奈川 上原 伸一 愛 媛 中岡 数夫

新 潟 中村 優晴 高 知 山本 茂男

長 野 新井 典夫 福 岡 八島 英孝

山 梨 進藤 哲雄 佐 賀 原田 照行

富 山 近江 吉郎 長 崎 池田 賢一

石 川 髭右近外嘉 熊 本 古川 裕久

福 井 神崎 貢 大 分 松井 健治

静 岡 山崎 善利 宮 崎 甲斐 孝明

愛 知 岡田 利一 鹿児島 大原 達也

三 重 田端 隆 沖 縄 新城 安雄

5. 司 会 恩田利昭事務局長

6. 会議の成立

司会者より、正会員46単位会のうち正会員46単位会(表決委任状提出者を含む)が出席しているので、定款第25条により会議が成立している旨の報告がなされた。

7. 正副議長の選任

正副議長につきの者が選任された。

議 長 本澤 宗夫 栃木会会長

副議長 鈴木 誠一 秋田会会長

8. 議事録署名人の選任

議事録署名人に議長・本澤宗夫栃木会会長、三栖邦博日事連会長及び八島英孝福岡会会長が選任された。

9. 議 事

第1号議案 平成21年度事業計画承認の件

第2号議案 平成21年度収支予算承認の件

議長より第1号議案と第2号議案は関連するため、併せて審議する旨が告げられた。

第1号議案については山田美光総務・財務委員長、木村旭業務・技術委員長、野呂敏秋広報・渉外委員長、髭右近外嘉指導運営委員長、高津専務理事が、第2号議案については北野常務理事がそれぞれ議案書2頁から9頁の記載事項について説明した。

議長より第1号議案及び第2号議案について採決したところ、それぞれ議案書のとおりにこれを承認した。

なお、その他の事項として横須賀満夫茨城会会長より建築主から建築士事務所への苦情相談は行っているが、建築士事務所から建築主に対する苦情相談も行うことも必要ではないかとの意見が出された。

■第106回 建築士事務所協会全国会長会議概要

1. 日 時 平成21年3月30日(月) 13:30～15:20

2. 会 場 八重洲富士屋ホテル「桜の間」

3. 会議の構成者数及び出席者数

構成者数 正会員会長46名

出席者数 正会員会長46名

(内、代理出席:北海道会、埼玉会)

4. 出席者

日事連役員

名誉会長 小川 圭一

会 長 三栖 邦博

副 会 長 山本 茂男 山崎 善利 本澤 宗夫

鈴木 誠一 外木場久雄 八島 英孝

専務理事 高津 充良

常務理事 北野 芳男

常任理事 木村 旭 佐野 吉彦 野呂 敏秋

原田 照行 髭右近外嘉 山田 美光

理 事 浅野 善治 上野 浩也 上原 伸一

大野 和男 野呂 幸一 水谷 達郎

山中 保教 横須賀満夫

監 事 大内 達史 岡田 利一 速水 可次

正 会 員

北海道 庄司 雅美 青 森 野呂 敏秋

岩 手 高橋 敏 宮 城 栗原 憲昭

秋 田 鈴木 誠一 山 形 伊藤 剛

福 島 田畑 光三 茨 城 横須賀満夫

栃 木 本澤 宗夫 群 馬 山田 美光

埼 玉 松下 充孝 千 葉 内田 久雄

東 京 三栖 邦博 神奈川 上原 伸一

新 潟 中村 優晴 長 野 新井 典夫

山 梨 進藤 哲雄 富 山 近江 吉郎

石 川 髭右近外嘉 福 井 神崎 貢

静 岡 山崎 善利 愛 知 岡田 利一

三 重 田端 隆 滋 賀 藤村 亮一

京 都 上野 浩也 大 阪 佐野 吉彦

兵 庫 外木場久雄 奈 良 泉谷 良宏

和歌山 岩橋 重文 鳥 取 足立 収平

島 根 矢野 敏明 岡 山 木村 旭

広 島 直井 稔征 山 口 香月 直樹

徳 島 速水 可次 香 川 富岡 学

愛 媛 中岡 数夫 高 知 山本 茂男

福 岡 八島 英孝 佐 賀 原田 照行

長 崎 池田 賢一 熊 本 古川 裕久

大 分 松井 健治 宮 崎 甲斐 孝明

鹿兒島 大原 達也 沖 縄 新城 安雄

事務局

事務局長 恩田 利昭、調査役 吉田 茂、

総務課長 前田 敏明

5. 議長・副議長

議長 山崎 善利(静岡会会長)

副議長 本澤 宗夫(栃木会会長)

6. 議事録署名人

三栖 邦博(日事連会長)、外木場久雄(兵庫会会長)、

山崎 善利(議長)

7. 議 事

議事に先立ち三栖会長より挨拶があり、引き続き次の事項について協議がなされた。

(1) 協議事項1. 平成21年度事業計画案について

1) 高津専務理事より、第51回通常総会(平成21年度予算総会)議案書に基づき、事業計画作成にあたっての基本方針について説明があった。

2) 上記同議案書に基づき、各常置委員会委員長より平成21年度事業計画案の説明があった。

(2) 協議事項2. 平成21年度収支予算案について

1) 北野常務理事より、平成21年度収支予算書(案)説明書に基づき、平成21年度収支予算案について「一般会計」、「福利厚生特別会計」及び「適合証明業務登録機関特別会計」の各項目内容について説明があった。

(3) 質疑応答

協議事項1、2について、議長より質疑を求めたが、特に発言はなく、平成21年度事業計画案及び収支予算案について了承された。

(4) 報告事項1. 設備設計一級建築士制度についての今後の対応について

三栖会長より、資料1に基づき、設備設計一級建築士制度に係る対応について、同制度の施行を平成21年5月に控え、ブロックごとの意見を踏まえ、平成21年3月13日に国土交通大臣に対し設備設計一級建築士制度の円

滑な施行に関する要望を行ったこと及び今後も国に対して働きかけを行っていくこと等、対応の概要について報告があった。

続いて高津専務理事より、上記要望内容の説明を踏まえ、建築設計ポータルセンター及び設備設計一級建築士制度への対応の経緯について報告があった。

(5) 報告事項2. 最近の建築関係に係る国等の動向について

高津専務理事より、資料2に基づき主に次の報告があった。

・「建築等を通じた良好な景観形成・まちづくり推進協議会」設立等の経緯や「設計者のための法適合確認検討会」、業務報酬基準関係、工事監理ガイドライン、住宅瑕疵担保履行法に係る住宅瑕疵担保責任保険の設計施工基準や国の工事監理ガイドライン策定の各状況について、また、昇降機に係る改正建築基準法施行令の施行による建築計画への影響や経過措置について注視する必要があること等の報告があった。

(6) 報告事項3. 日事連建築賞募集要項等について

山田総務・財務委員長より、資料3及び日事連建築賞案内リーフレットに基づき、日事連建築賞募集要項等について、昨年度からの変更点として「建築・空間デザイン・カテゴリー」にも受賞作品を掲載すること、選考委員会委員の変更等が報告されるとともに日事連建築賞への応募の促進について協力の呼びかけがなされた。

(7) 報告事項4. 第34回建築士事務所全国大会(愛媛大会)

実施要項について

山本全国大会運営特別委員長より、資料4に基づき、平成21年10月9日に開催される第34回建築士事務所全国大会(愛媛大会)の実施要項及び収支予算について説明があった。

中岡愛媛会会長より、大会開催に向けて鋭意準備を進行していること、本会会誌「ア・ガ・ス・アイ」等で大会のアピールを行うとともに参加者の募集の更なる呼びかけにつ

いて、各单位会への協力依頼があった。

- (8) 報告事項5. 平成21年度主な会議日程(予定)について
事務局より、資料5に基づき平成21年度の主な会議の
予定について報告があった。

会議終了に際して、三栖会長より次の発言があった。

- ・日事連建築賞への応募促進については、会員・会員外を問
わず広く建築士事務所のいゝルアップに寄与するだけでなく、
会員増強にもつながるため、単位会でも応募の促進に尽
力いただきたい。
- ・「建築等を通じた良好な景観形成・まちづくり推進協議
会」への本会としての対応体制をとる必要性があること
等から、本日開催された平成21年3月常任理事会において
本会に特別委員会を立ち上げることを決定した。また、国
土交通省が今後実施する「良好な居住環境形成に向けた
建築デザイン誘導モデル事業」においても該当する事業に
ついて応募ができる体制をとっていきたい。

■平成21年3月 常任理事会概要

1. 日 時 平成21年3月30日(月) 11:00～12:15
2. 会 場 八重洲富士屋ビル 3F「紅葉の間」
3. 常任理事会構成者数及び出席者数
- | | |
|-----------|-----|
| 常任理事会構成者数 | 14名 |
| 出席者数 | 14名 |
4. 出席者の氏名
- | | |
|-------|------------------------------------|
| 出席者 | |
| 会 長 | 三栖邦博 |
| 副 会 長 | 山本茂男、山崎善利、本澤宗夫、鈴木誠一、
外木場久雄、八島英孝 |
| 専務理事 | 高津充良 |
| 常務理事 | 北野芳男 |
| 常任理事 | 木村 旭、佐野吉彦、野呂敏秋、原田照行、
髭右近外嘉、山田美光 |
| 事 務 局 | 恩田利昭事務局長、
戸谷泰子広報・渉外担当課長、鈴木雅之業務課 |

長、前田敏明総務課長、吉田 茂調査役

5. 議事録署名人
三栖邦博会長、木村 旭常任理事、山田美光常任理事
6. 議事進行役
八島英孝副会長
7. 議 事
- (1) 協議事項
- 1) 第51回通常総会等の運営について
- 事務局より、第106回建築士事務所協会全国会長会議及び
第51回通常総会の議事の運営について資料1によって説
明がなされた。また、専務理事より全国会長会議の主な報
告事項のうち、通常理事会後の追加・修正事項の内容等に
ついて概要説明がなされた。追加事項では、昇降機に係る
改正建築基準法施行令について、昨年9月に昇降機の技術
基準が安全性向上の観点から大幅に強化されて、その施
行が本年9月28日に予定されているが、その改正によりエ
レベーターの大きさ等の建築計画への影響の可能性、大臣
認定の見通し、経過措置等の課題について注意が必要で
あることの説明がなされた。また、建築等を通じた良好な
景観形成・まちづくり推進協議会の設立等の関係では、平
成21年度に国では「良好な居住環境形成に向けた建築デ
ザイン誘導モデル事業」の募集が4月中旬頃予定されてい
るので各单位会宛に該当する事業があれば応募の準備を進
めるよう予告をしたこと及び同協議会では、これらの活
動の計画手法や団体からの人的支援などを含む効果的な
支援方策の検討を進めているので日事連としてもこれら
に対応する体制整備が必要となってきた旨の説明が
なされた。これについて協議した結果、実績と経験のある
委員による特別委員会を早急に設置し、対処することと
し、委員の人選については会長に一任することを決めた。
- (2) 報告事項
- 1) 提言「建築分野の地球温暖化対策ビジョン 2050」(案)の公
表に向けた審議依頼について
- 日本建築学会より地球環境委員会委員長名で本連合会に

対し依頼のあった、[提言「建築分野の地球温暖化対策ビジョン2050」(案)の公表に向けた審議依頼](資料2)について、専務理事より、これまでの経過等の報告がなされた。共同提言については、建築五会等で検討の進め方を引き続き協議しつつ、あらためて関係団体が委員を派遣し、組織的な検討を行ったうえで進める必要がある旨を日本建築学会会長へ回答することを了承した。

2) 会員・構成員異動報告

平成21年2月末日の会員及び構成員数等を次の通り報告した。単位会別構成員数等は資料3の通り。

平成21年2月28日現在

正会員46団体、構成員14,895事務所、賛助会員5社

3) 後援名義等使用の催物及び経過報告について事務局長よりそれぞれ資料4、資料5により報告がなされた。

〈配付資料〉

資料1: 第106回建築士事務所協会全国会長会議

資料2: 提言「建築分野の地球温暖化対策ビジョン2050」(案)の公表に向けた審議依頼

資料3: 会員・構成員異動報告書

資料4: 後援、協賛名義使用の件

資料5: 経過報告

■第3回 指導運営委員会概要

日 時 平成21年3月24日(火) 13:30～15:50

会 場 日事連会議室

出 席 者

委員長: 髭右近外嘉 副委員長: 上原伸一

委 員: 佐藤眞彦、飯窪功児、桜井紘一、森口勝茂、
山上紀麿、中野 満

担当副会長: 鈴木誠一

事務局: 高津、恩田、吉田、鈴木

〈提出資料〉

資料1 : 指導運営に関する平成20年度事業報告
(3月24日時点)

資料 2 : 各ブロック協議会内の単位会の状況報告について
資料3-1 : 苦情の解決業務実施報告書(個別レポート)様式
(案)

資料3-3 : 苦情の解決業務実施報告書(個別レポート)記載要
領(案)

資料 4 : 苦情処理業務について(東海北陸ブロック協議会)
◎会議に先立ち、鈴木担当副会長より冒頭挨拶がなされた。

議事1. 平成20年度苦情処理業務(指定法人業務)の実施報告
等について

○資料1の指導運営に関する平成20年度事業報告(3月24日
時点)に基づき、指定法人業務としての苦情処理の単位会
集計結果及び下半期にかけて行われた各ブロック協議会で
の説明会の事業等について、事務局より報告がなされた。
・今後1月5日～3月末日までに実施した法定団体として
の苦情の解決業務の受付件数等について単位会より実
施報告書を提出願ひ、その集計結果等を事業報告に記
載していくことを了解した。

議事2. 苦情の解決業務の単位会の実施状況について

○各委員より所属単位会の実施状況について報告がなされ
た。申込の受付については、協会のホームページを見て問い合
わせ等があるが件数は少ない状況となっている。

○次回の指導運営委員会に向けて各ブロック協議会内の単位
会の状況報告について、資料2に示された3項目を調査し
て、5月29日(金)までにまとめたものを事務局宛送付する
こととした。

なお、苦情の解決業務の受付件数(1月5日～3月31日の期
間)については、事務局において単位会より実施状況報告
書を提出願ひ集計する。

次回委員会において、各委員からの提出資料をもとに協
議することとする。

議事3. 苦情の解決業務実施報告書の経費に係る案件の事例
等について

○苦情の解決業務育成支援制度では、業務実施報告経費の
助成として苦情の申出人と面談を行った案件のうち、パ

ト提出により1案件1万2千円を助成することになっている。

単位会へ参考に示すためのポートの事例内容について、資料3-1苦情の解決業務実施報告書(個別ポート)様式(案)及び資料3-3苦情の解決業務実施報告書(個別ポート)記載要領(案)を事務局が作成し説明がなされた。

- ・記載例3案については、過去に実際にあった苦情処理内容を参考に作成している。

- ・今後単位会より提出される個別ポートは、①相談員の再発防止に向けた参考資料とするもの、②原因に関する所見(考察)の集計データを「国への要望」の根拠データ等とするもの、③原因等を項目別にして印刷物として作成すること等を目的として取り扱いたい。

○苦情の解決業務実施状況報告書を提出する際に、資料3-1の5頁の実施状況集計表も単位会が前記実施状況報告書の数字に基づいて入力していただくようお願いする。

○資料3-1苦情の解決業務実施報告書(個別ポート)様式(案)及び資料3-3苦情の解決業務実施報告書(個別ポート)記載要領(案)について部分修正し、単位会へ文書(差出人は日事連会長と指導運営委員長の連名)を付けてEメールで送付することを了承した。

議事4. その他

○最近の国などの動きとして、住宅瑕疵担保履行法の本年10月完全施行、告示第15号業務報酬基準解説書の動向及びエレベーターの設置基準の政令改正による取扱い等について、事務局より報告がなされた。

●次回委員会 平成21年7月10日(金) 13:30~16:00

■ 行事予定

※行事日程は中止・変更等になることがございますのでご了承ください。

平成21年

5月15日 監査会

18日 適合証明業務登録制度運営委員会

20日 総務・財務委員会

22日 常任理事会

6月2日 通常理事会、政研役員会

3日 建築設計制度等対応特別委員会

4日 構造技術専門委員会

5日 景観・まちづくり特別委員会

12日 会誌編集専門委員会

19日 決算総会、全国会長会議、常任理事会
(帝国ホテル)

23日 日事連建築賞選考委員会

26日 事務局連絡会議(八重洲富士屋ホテル)

■4月末単位会構成員在籍・賠償責任保険制度加入状況

期 間 平成21年4月1日～4月30日

単位会	構成員数(A)	増 減	建築士事務所登録		賠償責任保険		
			登録数(B)	加入率(A/B)	加入数(C)	増 減	加入率(C/A)
北海道	639	- 7	5,707	11.2	207		32.4
青 森	140		1,245	11.2	31	+ 1	22.1
岩 手	265	- 1	1,353	19.6	56		21.1
宮 城	260		2,757	9.4	51		19.6
秋 田	174		1,678	10.4	43		24.7
山 形	191		1,658	11.5	47		24.6
福 島	179		2,104	8.5	48	+ 1	26.8
茨 城	501		2,773	18.1	129		25.7
栃 木	173		1,840	9.4	87	+ 1	50.3
群 馬	175		2,340	7.5	89		50.9
埼 玉	560		6,274	8.9	96	+ 1	17.1
千 葉	410	+ 6	4,491	9.1	89	+ 1	21.7
東 京	1,330		18,300	7.3	328	+ 5	24.7
神奈川	795	+ 36	7,662	10.4	147	+ 1	18.5
新 潟	280		2,924	9.6	99		35.4
長 野	540		2,945	18.3	114		21.1
山 梨	114	- 1	1,091	10.4	11		9.6
富 山	267		1,572	17.0	53		19.9
石 川	258		1,664	15.5	51		19.8
福 井	267		1,189	22.5	55		20.6
静 岡	544		4,030	13.5	132	+ 1	24.3
愛 知	628	- 5	6,039	10.4	134	+ 1	21.3
三 重	182	+ 1	1,722	10.6	61		33.5
滋 賀	202		1,492	13.5	34		16.8
京 都	270		2,610	10.3	77		28.5
大 阪	1,050		8,101	13.0	169	+ 2	16.1
兵 庫	503		4,481	11.2	124		24.7
奈 良	124	- 4	1,103	11.2	19	+ 1	15.3
和歌山	118	+ 1	916	12.9	24		20.3
鳥 取	82	- 3	648	12.7	43	+ 2	52.4
島 根	155		935	16.6	50		32.3
岡 山	469		1,934	24.3	56		11.9
広 島	384		3,040	12.6	108	+ 1	28.1
山 口	116		1,610	7.2	36		31.0
徳 島	100		1,161	8.6	14		14.0
香 川	105		1,550	6.8	16		15.2
愛 媛	127		1,526	8.3	22		17.3
高 知	149	- 2	895	16.6	16		10.7
福 岡	540	- 4	4,491	12.0	128		23.7
佐 賀	171		789	21.7	29		17.0
長 崎	226		1,112	20.3	38		16.8
熊 本	227		1,713	13.3	77		33.9
大 分	208	+ 2	1,189	17.5	37		17.8
宮 崎	141	- 1	1,554	9.1	66		46.8
鹿児島	320		1,700	18.8	74		23.1
沖 縄	180	- 1	1,470	12.2	43	+ 1	23.9
計	14,839	+ 17	129,378	11.5	3,458	+ 20	23.3

※建築士事務所登録数は平成20年3月末日現在の数字である。